

畜産茨城

第464号

平成29年1月20日



目次

新年挨拶	1	畜産物加工体験・酪農体験のご案内	8
第18回 県南肉用牛枝肉共助会が 開催されました！	2	平成28年11月市況	10
第18回 関東地区ホルスタイン共進会が 開催されました	3	肉用子牛生産者補給金・ 肉用牛繁殖経営支援事業発動状況	10
第60回 茨城県肉用牛共進会	4	平成28年12月市況	11
H28年11月以降の高病原性 鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況	6	新マルキン発動状況	11
ローズポークおいしさまるごとキャンペーン	7	家畜排せつ物法の 『管理の方法に関する基準』を守りましょう	12

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／加倉井 豊邦



奥久慈しゃも

農事組合法人奥久慈しゃも生産組合 [太子町]

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、当協会の事業推進につきましましては、多大なるご協力とご支援をいただきまして、心より御礼申し上げます。

さて、1月20日、アメリカではトランプ新大統領が誕生し、就任式において、TPPからの離脱を表明するとされています。これによりTPP協定は事実上成立しない事となるわけですが、トランプ大統領は日本に対し、TPPよりも厳しい条件で二国間交渉を迫ってくるものと推察されています。

また、昨年末からは日本とEUとのEPA交渉が急速に進展しておりますが、アメリカ・EU両国との交渉においては国内の畜産業が再生産可能な内容での決着となる事を強く望むところであります。

ところで、今年の干支は酉年で、酉は「にわとり」

の事です。「にわとり」は明け方に鳴く鳥で、新年も一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされています。また、「とり→取り込む」で、商売に繋がるとされ、商売関係には縁起が良い年とされています。

昨年末から、全国各地において、野鳥での高病原性鳥インフルエンザが確認されております。さらに、養豚でも豚流行性下痢(PED)の発生が全国で確認されております。このような情勢の中、生産者の皆様におかれましては、より一層の飼養衛生管理の徹底をお願いいたします。

当協会役職員一同一丸となり生産者の支援となる事業の実施を引き続き行ってまいりますので、更なるご支援とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとってケッコーな年となる事を御祈念いたします。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

第18回 県南肉用牛枝肉共励会が開催されました！

茨城県県南農林事務所 振興・環境室 農業振興課

平成28年11月14日（月）～17日（木）に株式会社茨城県中央食肉公社で、県南肉用牛経営技術研究会主催の第18回県南肉用牛枝肉共励会（会長 関 郁夫氏）が開催されましたのでご紹介いたします。当研究会は毎年先進的な農家の視察を行うなど、会員一同が日頃より切磋琢磨している研究会です。

今回の共励会では会員から和牛26頭が出品され、日ごろの肥育技術研鑽の成果を競い合いました。

前回の共励会では4等級以上が100%でしたが、今回は92%と若干下回ったものの、歩留等級がすべてA、枝肉重量も平均1頭あたり昨年よりも約12kg増という素晴らしい成績でした。

厳正なる審査の結果、名誉賞にはつくば市の酒井克己様の牛肉が選ばれました。BMS No.12で、審査員から「もも抜けの良い迫力ある枝肉」との評価をいただきました。おめでとうございます。

肉用牛農家にとっては、近年の子牛相場の価格の高騰等、大変厳しい局面をむかえておりますが、共励会を通じ、会員の牛肉生産の意欲向上、買参人への周知などの効果が得られたものと存じます。来年度も地域の肉用牛振興を図るため、盛大に共励会が行われることを期待しております。

当課も積極的に支援を行ってまいります。



褒賞	出品者	性別	父	格付け	単価(円)/kg
名誉賞	酒井 克己	去勢	北乃大福	A-5	2,963
最優秀賞	池延 浩幸	去勢	美津百合	A-5	2,999
優秀賞	宮本 守正	去勢	安福久	A-5	2,712
優秀賞	酒井 克己	去勢	光平照	A-5	2,902
優秀賞	成島 克己	去勢	百合茂	A-5	2,693

第18回 関東地区ホルスタイン共進会が開催されました

茨城県酪農業協同組合連合会



審査員：松島 喜一氏（熊本県酪農家）



平成28年11月22日から23日にかけて、埼玉県熊谷市玉井「埼玉県農業技術研究センター玉井試験場」において、第18回関東地区ホルスタイン共進会が開催されました。

会期前夜の降雨で会場の足下は悪く、審査当日も強風に見舞われるなど、寒さが厳しい中での開催となりましたが、1都6県から延べ94頭の出品牛が集まり、本県からも第32回茨城県ホルスタイン共進会にて最終的に選定された14頭（2頭欠場）を茨城県の代表として出品してきました。

本県出品牛14頭の成績について【未經産牛7頭・経産牛7頭】

部 別	出品成績	出 品 者	組 合 名
第1部	2等賞2席	鯉淵学園農業栄養専門学校	鯉淵学園
第2部	2等賞3席	鯉淵学園農業栄養専門学校	鯉淵学園
第2部	2等賞2席	藤枝 英明	美野里
第2部	1等賞4席	矢澤 一郎	茨城北
第3部	1等賞4席	橘 和宏	茨城北
第4部	2等賞3席	(有) PIONEER FARM	美野里
第4部	優等賞2席	Y2ネットワーク	ひので
第5部	2等賞2席	佐藤 晃	茨城北
第5部	1等賞5席	飯田 洋明	ひので
第6部	優等賞3席	(有) PIONEER FARM	美野里
第7部	優等賞3席	弓家 直人	ひので
第7部	2等賞1席	宮澤 智浩	美野里
第8部	2等賞2席	木塚 陽一	ひので
第8部	優等賞3席	弓家 直人	ひので

第60回 茨城県肉用牛共進会

茨城県畜産農業協同組合連合会



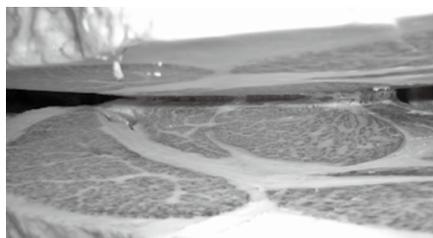
セリ場風景

平成28年11月28日（月）～12月1日（木）、茨城県中央食肉公社において「第60回茨城県肉用牛共進会」が開催されました。農林水産祭参加行事として開催されている本共進会は、常陸牛指定生産者が、丹精込めて飼育した牛から最良の肉質と期待し、選抜した出品牛をもって開催されます。まさに年に1度の県内最大の枝肉共進会であり、今回は常陸牛の部に104頭が出品されました。

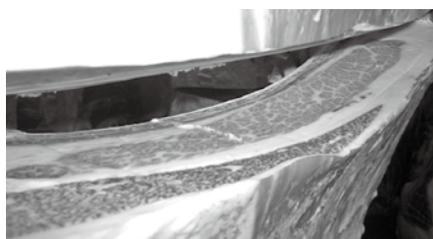
出品牛の内訳は去勢86頭（平均月齢29.9ヶ月）・雌18頭（同29.6ヶ月）で、産地は県内産

24頭・県外産80頭（北海道と栃木県が各20頭、他県40頭）と以前に比べ県内産の素牛割合が増加する傾向がでております。枝肉全体の格付状況では、「常陸牛」に該当するAB-4,5等級の上物率は97.1%と大変素晴らしい結果となりました。このうち、去勢牛86頭についての枝肉測定平均値は、枝肉重量566.2kg・ロース芯面積66.2cm²・バラの厚さ9.5cm・皮下脂肪の厚さ2.5cm・BMSNo.9.3という成績でした。雌牛18頭についての測定値は、枝肉重量461.9kg・ロース芯面積59.2cm²・バラの厚さ8.4cm・皮下脂肪の厚さ2.9cm・BMSNo.7.6という成績でした。審査委員からは「枝肉重量に富み、バラの厚さの充実したものが多く、肉質の良いものが大変多く見受けられましたが、一方で脂肪交雑・ロース芯面積・肉の光沢・脂肪の質等にバラツキがみられるものがありました。」との講評をいただきました。

厳正な枝肉審査の結果、名誉賞には稲見信孝氏（筑西市）の出品牛が、また最優秀賞や他各



名誉賞 5588



名誉賞 5588



会長と名誉賞受賞の稲見信孝氏

賞には下記生産者の出品牛が選出されました。(脂肪交雑)は最高値の12で、枝肉単価は4,444円と、希に見る高額な販売単価となりました。

【入賞者成績】

入賞等級	住所	出品者名	性別	血統		産地	枝肉重量(kg)	枝肉単価(円)	販売金額(円)	格付	BMS No.	ロース芯面積(cm ²)
				父	母の父							
名誉賞	筑西市	稲見 信孝	去勢	百合茂	安福久	北海道	560.5	4,444	2,490,862	A-5	12	97
最優秀賞	銚田市	(株)茨畜連PF 銚田牧場	去勢	美津百合	安福久	北海道	521.0	4,001	2,084,521	A-5	12	99
優秀賞 1席	筑西市	栗原 幹夫	去勢	茂洋	安福久	宮崎県	633.0	2,961	1,874,313	A-5	12	99
優秀賞 2席	古河市	長島 勝男	去勢	芳之国	安福久	青森県	638.5	3,121	1,992,759	A-5	12	81
優秀賞 3席	常陸太田市	関 良一	去勢	光平照	百合茂	福島県	552.5	3,055	1,687,888	A-5	12	97
優秀賞 4席	つくば市	成島 克巳	去勢	安福久	勝忠平	岩手県	554.0	3,064	1,697,456	A-5	12	67
優秀賞 5席	水戸市	播田実一美	去勢	百合茂	安福久	栃木県	565.5	3,001	1,697,066	A-5	12	88
優良賞	下妻市	栗島 喜好	去勢	隆之国	勝忠平	北海道	545.0	2,896	1,578,320	A-5	12	72
	茨城町	石崎 均	去勢	百合茂	安福久	茨城県	534.0	2,904	1,550,736	A-5	12	75
	笠間市	設楽 俊夫	雌	北国関7	福栄	茨城県	515.0	3,052	1,571,780	A-5	12	83
	筑西市	澁澤 誠	去勢	百合茂	安福久	鹿児島県	634.0	2,861	1,813,874	A-5	12	87
	笠間市	安達 政弘	去勢	安福久	百合茂	栃木県	559.0	2,834	1,584,206	A-5	12	59
	常総市	塚田 孝行	去勢	隆之国	安福久	鹿児島県	568.0	2,907	1,651,176	A-5	12	57
	茨城町	橋本畜産(株)	去勢	光平照	平茂晴	宮崎県	560.0	3,012	1,686,720	A-5	11	55
	下妻市	鈴木 政良	去勢	光平照	安福久	群馬県	463.0	2,903	1,344,089	A-5	11	74

現在の牛枝肉相場は、全国的に肉牛出荷頭数が減少していることから堅調な相場で推移しており高値で販売されることが多くなっております。しかし、枝肉価格の高騰は店頭での販売価格高騰にもつながり、買参業者の方々からは「和牛が高くて売れない」と言った声も多く聞かれ、消費者の牛肉離れも心配されております。そのため、今後の常陸牛生産においては、買参業者に高く評価される「体型・肉質・美味しさ」の三拍子揃った肉牛づくりに取り組む必要があると考えます。

また、子牛相場においても全国平均(去勢)で90万円を超えるという異常な高騰が継続しており、常陸牛生産者は今後の経営に大きな不

安を抱えております。子牛相場の高騰は、繁殖農家の高齢化や後継者不足等による飼養頭数の減少が原因であり、国政策等の成果で頭数減少に歯止めはかかったものの市場上場頭数の増加には時間がかかる見込みです。常陸牛生産者の経営安定に向けては、県内産子牛の増頭及び一貫経営への取り組み拡大が課題となりますが、これを機に「茨城生まれ・茨城育ち」の純粋な常陸牛を増産するための仕組み作りに力を入れてまいります。

最後になりましたが、消費者の皆様には、安心・安全で美味しい常陸牛をたくさん食べていただきたく、お願い申し上げます。

H28年11月以降の 高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の発生状況

茨城県鹿行家畜保健衛生所

鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスにより起きる伝染病です。A型インフルエンザウイルスは、16種類ある血球凝集素（HA）と9種類あるノイラミニダーゼ（NA）抗原の組合せによりウイルス亜型が決まり、我が国では、国際獣疫事務局が定める国際基準に準じて、HPAIウイルス、低病原性鳥インフルエンザウイルス、鳥インフルエンザウイルスの3つに分類されています（図1）。

図1 鳥インフルエンザの分類



今年度、5道県7農場（表1）で発生したHPAIは、すべてH5N6亜型のウイルスであり、全国の多くの野鳥から検出されているHPAIウイルスと同型のウイルスです。HPAIウイルスが検出された野鳥は、オオハクチョウ、マガン、フクロウ、オオタカなど、水禽類だけでなく様々な鳥類への感染が確認されています（表2）。HPAIウイルスは、鳥類に強い感染力がありますので、留鳥であるカラスやスズメ等にも感染する危険性があります。また、これらの留鳥がウイルスを含む糞便などと接触して、機械的にウイルスを拡散する危険もあります。

本県においても、千波湖や北浦などの野鳥から平成29年1月4日までにH5N6亜型のHPAI

ウイルスが46例検出されており、野鳥の間でまん延していると考えられます。春先まで渡り鳥は飛来してきますので、引き続き注意が必要です。

表1 平成28年度国内高病原性インフルエンザ発生状況

発生日	発生県	飼養状況	ウイルス亜型
H28.11.28	青森県	あひる 約16,500羽	H5N6
H28.11.29	新潟県	採卵鶏 約31万羽	H5N6
H28.11.30	新潟県	採卵鶏 約23万羽	H5N6
H28.12.2	青森県	あひる 約4,800羽	H5N6
H28.12.16	北海道	採卵鶏 約28万羽	H5N6
H28.12.19	宮崎県	肉用鶏 約12万羽	H5N6
H28.12.27	熊本県	採卵鶏 約9万羽	H5N6

表2 平成28年秋以降の野鳥からのH5亜型鳥インフルエンザ分離状況

	種名	遺伝子検査陽性数	HPAI分離数
北海道	オオハクチョウ等	8	6
青森県	オオハクチョウ	10	6
岩手県	オオハクチョウ等	14	13
宮城県	マガン	3	2
秋田県	コウチョウ等	6	6
福島県	オオハクチョウ	3	2
茨城県	コウハクチョウ等	53	46
栃木県	オオタカ	1	1
新潟県	コウチョウ	17	17
長野県	コウチョウ	1	不検出
愛知県	コウチョウ等	11	10
三重県	オオタカ	1	1
京都府	コウハクチョウ	7	7
兵庫県	カモ類の糞便	1	1
鳥取県	コウハクチョウ等	5	5
長崎県	ハヤブサ	1	1
鹿児島県	ハゲザル等	30	30

図2 H28-29期HPAI（H5N6）分離状況



茨城県の取組

本県では、毎月、県内15農場の定点モニタリング検査の他、年に1回は、全ての養鶏場の立入検査や抗体検査を実施しています。さらに、渡り鳥が飛来する10月～翌年3月の期間に県

内12か所の湖沼で野鳥の糞便を採取し、ウイルスの保有状況を確認しています。また、同時に県内の猟友会協力のもと、カラスやスズメなどの留鳥の鳥インフルエンザウイルスの保有

状況の確認も実施しています。H28.12月までに検査した留鳥からは、鳥インフルエンザウイルスは検出されていませんが、北浦などの水禽類の糞便から鳥インフルエンザウイルスが検出されています。

今回、発生を予防するために昨年12月に各市町村の協力を得て全ての養鶏農家に消石灰配

布を実施しました。消石灰は水分を含むとpHが高くなり(pH=12以上)、消毒効果を発現します。さらに、鶏舎の周囲に散布することで、ネズミ等の野生動物の侵入を防ぐことも期待できますので鶏舎内へのウイルス侵入防止の一助になると考えられます。養鶏農家の方々には、定期的な消石灰の散布をお願いします。

HPAIの対策

発生を防止するためには、HPAIウイルスを農場に持ち込まないことが重要で、そのために、農場内外の衣服の区別を明確し、長靴の消毒の徹底など、飼養衛生管理基準を遵守しましょう。

また、今回、国内の発生農場の疫学調査の結果、鶏舎にネズミなどの小型の野生動物が侵入できる隙間が確認されており、HPAI発生の一因である可能性があります。防鳥ネットや鶏舎壁面の破損など、野生動物の侵入経路がないか

を詳細に点検し、十分でない場合には早急に修繕などを行ってください。

HPAIは、強い伝播力と高い致死率を持つ伝染病であり、まん延を防止するためには早期発見が重要です。そのため、毎日の健康観察で、死亡家きんの増加など異状を見つけた場合は、速やかに最寄りの家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

2017 ローズポーク おいしさまるごとキャンペーン

茨城県銘柄豚振興会

日頃よりローズポークをご愛顧くださいます、誠にありがとうございます。そんな皆様に感謝の気持ちを込めて、「2017ローズポークおいしさまるごとキャンペーン」を実施します。

期間中、ご応募いただいた方に抽選で素敵な賞品が当たります。

(応募期間:平成 29年 2月 1日(水) ~ 21日(火))
※ 2月21日消印有効



応募はがきにローズポークシールを2枚貼りつけ、ローズポークお買い上げ店を明記の上ご応募ください。詳しくは、『茨城県銘柄豚振興会』で検索!!
たくさんのご応募お待ちしております。

当振興会は消費者の皆様幅広く「ローズポーク」を理解していただくために普及推進活動を展開し、キャンペーンや消費者交流会を通して販路拡大に努めております。今後も引き続きご支援・ご愛顧をよろしくお願いたします。

2017 いばらきの高品質豚肉 **ローズポーク** おいしさまるごとキャンペーン

キャンペーン期間 2017年 2/1(水)・21(火)

シール2枚集めて おいしいプレゼントを当てよう!

合計 100名様に 当たるよ!

A賞 ローズポーク ローズスライス [しゃぶしゃぶ用] 1kg 10名様	B賞 ローズポーク ローズ切身 [800g] 10名様	C賞 ローズポーク 肩ローズスライス [焼肉用] 1kg 10名様
D賞 ローズポーク ローズ味噌漬 [800g] 10名様	E賞 ローズポーク 華産なる逸品 [ローズポークカレー3杯/箱×2] 10名様	F賞 ローズポーク ウィンナー [3/パック] 50名様

茨城県銘柄豚振興会
〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町下土師字高山1950-1
http://www.ib.zennoh.or.jp/rosepork/

畜産物加工体験・酪農体験のご案内

茨城県畜産センター 企画情報室

◆ 畜産物加工体験・酪農体験について ◆

畜産センターでは、家畜と人との関わり合いについて知っていただく食育の場として、畜産物加工体験と酪農体験を実施しています。

各体験の内容は以下のとおりです。

1) 畜産物加工体験

① ソーセージ作り

挽肉に香辛料を加え練り合わせ、羊腸に詰める体験です。ボイル・パックはセンター職員が行います。なかなか難しい大人向けの体験です。主に中学生以上で20名程度までの団体向けです。



ソーセージ作りの様子

牛乳の風味豊かな味わいが子供から大人まで大変好評です。30名程度の団体向けで、小さいお子さんの団体は大人のサポートがあれば作ることができますのでご相談ください。



アイスクリーム作りの様子

② アイスクリーム作り



牛乳・卵・生クリームなどを混ぜ合わせ、冷やしながら固めて作ります。出来上がりをその場で食べることができます。

出来上がりをその場で食べることができます。

③ バター作り

生クリームの入った容器を振り続けて作ります。簡単な作業ですので幼稚園児など小さな子供でも楽しんでいただけます。人数は80名程度までお受けできます。



バター作りの様子

2) 酪農体験

① 牛へのえさやり

乳牛に手渡しでえさをあげることができます。間近で大きな牛がえさを食べる様子はなかなか見る機会がないと思います。子供たちには大変喜んでもらえます。



えさやりの様子

② 模擬牛による搾乳体験

乳頭を搾ると水が出る模擬牛を使って、乳しほりの感触を体験することができます。



模擬牛による搾乳体験

③ 子牛とのふれあい

生まれて間もない子牛に触れることができます。ただし、子牛がいない時もあるのでご了承ください。



子牛とのふれあい

なお、酪農体験では、乳牛との接し方や体の構造、酪農という仕事などについて説明し、畜産物加工体験では、牛乳の栄養に関する話やバター・アイスクリームなどの乳製品についてわかりやすく説明します。

畜産センターFacebookにおいて体験風景を紹介しています。

◆ 対象団体 ◆

幼稚園や小学校、一般の団体（10名以上で団体の規約・代表者の定め等が明確であること）などを対象にしています。

学校行事はもとより、子供会や女性団体、公民館などの行事として幅広く受け入れています。

また、高校生や大人向けに簡単な研修や研究施設の見学なども併せて実施しています。



学生の研究見学

◆ 酪農教育ファームの認証を受けています ◆

畜産センターは、平成22年度に「酪農教育ファーム」の認証を受け、幼稚園や小学校などの子供を中心に毎年多くの体験者を受け入れています。「酪農教育ファーム」とは、牧場を教育の場として開放し、酪農体験などを通じて「食や命の大切さ」を学んでもらうことを目的とした施設です。活動を支援する「ファシリテーター」を駐在させ、家畜とのふれあいや搾乳作業など酪農に関する様々な体験を通じた教育活動などを行っています。

畜産センターでは、今後も楽しく学べる体験活動を続けていきたいと思えます。

皆様のご参加をお待ちしております！

畜産物加工体験及び酪農体験をご希望の方、お問い合わせはこちらまでご連絡ください

茨城県畜産センター 企画情報室

〒315-0132 石岡市根小屋1234

TEL:0299-43-3333 FAX:0299-43-6392

* 詳細については茨城県畜産センターのホームページ・Facebookをご覧ください。

平成28年11月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
9	一般子豚	51	20,304	15,444	18,366	50
	ベビー豚	290	19,332	10,476	17,507	35
22	一般子豚	66	18,360	16,524	17,103	50
	ベビー豚	320	18,576	10,908	15,944	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀ ♂ 去計	58	1,088,640	530,280	780,188	281	2,779
			0					
			91	1,138,320	395,280	914,475	312	2,935
	149	1,138,320	395,280	862,202	300	2,878		
		経産	4	748,440	280,800	455,220	-	-
F1	♀ ♂ 去計	14	424,440	353,160	382,860	290	1,322	
		19	460,080	379,080	439,560	287	1,532	
		33	460,080	353,160	415,505	288	1,442	

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
11	入場頭数	8	0	0	4	0	12	5	5
	成立頭数	8			4		7	5	5
	最高(円)	70,200			90,720		98,280	74,520	84,240
	最低(円)	64,800			51,840		60,480	58,320	60,480
	平均(円)	67,230			68,040		76,063	67,176	73,872

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀ ♂ 去計	36	1,027,080	638,280	756,660	259	2,920
			0					
			46	1,059,480	696,600	884,567	291	3,039
		82	1,059,480	638,280	828,413	277	2,990	

食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉；日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉；毎週月曜日、木曜日					
	項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数		
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	16,246.0	78.4	522	516	502	468	408	489	29,184	1,294.5
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A	321	353	487.8	2,809	2,567	2,281	1,704	-	2,618
	B	27			2,919	2,257	2,169	1,177	935	
	C	5			-	-	-	957	763	
乳牛	A	-	194	304.9	-	-	-	-	550	
	B	17			-	-	-	661		548
	C	177			-	-	-	641		492
交雑牛	A	14	141	511.3	2,163	1,823	1,740	-	1,608	
	B	106			1,947	1,808	1,681	1,370		-
	C	21			-	1,613	1,518	1,167		540

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	5, 9, 15, 19, 25, 29			
				頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール		♀ ♂ 去計	3	265,680	48,600	123,120
				152	142,560	1,080	95,559
				1	74,520	74,520	74,520
				156	265,680	1,080	95,954
				2	311,040	270,000	290,520
F1	スモール		♀ ♂ 去計	75	291,600	97,200	213,926
				95	367,200	171,720	292,237
				0			
				170	367,200	97,200	257,688
				2	311,040	270,000	290,520
黒毛和種	子牛		♀ ♂ 去計	0			
				0			
				15	503,280	453,600	472,608
				15	503,280	453,600	472,608
				2	311,040	270,000	290,520
	3歳以上		♀ ♂ 去計	1	221,400	221,400	221,400
				4	664,200	606,960	639,360
				0			
				5	664,200	221,400	555,768
				2	543,240	325,080	434,160

肉用子牛生産者補給金・肉用牛繁殖経営支援事業発動状況

平成28年度第3四半期(平成28年10~12月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円/頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	337,000	307,000	220,000	133,000	205,000
合理化目標価格	280,000	257,000	149,000	90,000	147,000
平均売買価格	849,200	829,900	372,500	208,600	417,900
補給金単価	-	-	-	-	-

○肉用牛繁殖経営支援事業

(単位：円/頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
保証基準価格	337,000	307,000	220,000
平均売買価格	849,200	829,900	372,500
発動基準	450,000	410,000	290,000
支援交付金単価	-	-	-

平成28年12月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
7	一般子豚	46	20,412	19,440	19,890	50
	ベビー豚	330	21,168	10,800	19,054	35
21	一般子豚	48	22,032	20,844	21,672	50
	ベビー豚	402	21,600	16,740	20,222	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀ ♂ 去計	54	1,088,640	328,320	783,740	274	2,858
			71	1,168,560	662,040	952,347	306	3,116
		125	1,168,560	328,320	879,509	292	3,012	
		経産	6	994,680	252,720	433,980	-	-
		F1	♀ ♂ 去計	9 22 31	388,800 483,840 483,840	270,000 410,400 270,000	358,800 453,944 426,321	272 281 279

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♀
	入場頭数	開催なし							
	成立頭数								
	最高(円)								
	最低(円)								
	平均(円)								

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀ ♂ 去計	開催なし					

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日		5, 9, 15, 19, 25, 29				
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	5	38,880	1,080	28,512
		♂	205	136,080	3,240	90,757
		去計	1	87,480	87,480	87,480
	3歳以上	♀	1	228,960	228,960	228,960
		去計	1	228,960	228,960	228,960
F1	スモール	♀	75	280,800	41,040	208,598
		♂	83	367,200	64,800	288,438
		去計	0			
	子牛	♀	4	384,480	237,600	287,550
		去計	1	46,440	46,440	46,440
黒毛和種	スモール	♀	14	490,320	410,400	468,257
		♂	19	490,320	46,440	408,013
		去計	2	289,440	194,400	241,920
	3歳以上	♀	0			
		去計	2	289,440	194,400	241,920
交雑牛	スモール	♀	1	405,000	405,000	405,000
		♂	1	522,720	522,720	522,720
		去計	0			
	子牛	♀	2	522,720	405,000	463,860
		去計	3	511,920	221,400	400,680
	3歳以上	♀	5	757,080	388,800	633,312
		去計	1	324,000	324,000	324,000
	♀	9	757,080	221,400	521,400	
	♀	4	619,920	193,320	394,470	
	♀	0				
	去計	4	619,920	193,320	394,470	

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉：毎週月曜日、木曜日					
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数			
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	15,759.5	77.8	536	526	511	475	411	498	27,750	945.5
牛									平均単価(円)	
和牛	A	358	407	500.9	2,880	2,649	2,273	1,291	648	2,675
	B	42			2,594	2,490	2,103	1,207	815	
	C	7			-	2,222	-	795	448	
乳牛	A	-	136	287.8	-	-	-	-	-	473
	B	4			-	-	-	599	440	
	C	132			-	-	-	586	436	
交雑牛	A	11	151	514.7	2,169	1,990	1,838	1,404	-	1,662
	B	122			-	1,959	1,746	1,295	-	
	C	18			-	1,779	1,518	1,122	-	

新マルキン発動状況

期	支払方式	肉専用種	交雑種	乳用種
平成28年10月	概算払単価	-	-	41,300
平成28年9月	確定単価	-	-	47,000
平成28年8月	確定単価	-	-	26,800
	概算払単価	-	-	22,800
平成28年7月	確定単価	-	-	17,800
	概算払単価	-	-	13,800

(注)

平成26年4月期の補填金交付から、四半期の最終月以外については、補填金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをすることになりました。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、平成26年4月から消費税抜きで算定されています。

○茨城県において補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、補填金単価を減額することがあります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

家畜排せつ物法の 『管理の方法に関する基準』を守りましょう

茨城県農林水産部畜産課

家畜排せつ物法の定める管理基準

平成16年の「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律（家畜排せつ物法）」の本格施行を経て、現在ではほぼ全ての対象農家が同法の管理基準を遵守しているところです。

しかし、堆肥舎等の施設の経年劣化が進んでいること等を踏まえ、その点検・維持等を着実に実施していく必要があることから、今後は同法の管理基準のうち『管理の方法に関する基準』の遵守がより一層重要になります。

管理の方法に関する基準（施行規則第1条第1項第2号より）

イ 家畜排せつ物は管理施設において管理すること

⇒家畜排せつ物は構造設備に関する基準に適合した管理施設で管理しましょう。

ロ 管理施設の定期的な点検を行うこと

⇒設備の破損によって家畜排せつ物の適切な管理ができなくなることを防止するため、定期的な点検を実施しましょう。

ハ 管理施設の床、覆い、側壁又は槽に破損があるときは、遅滞なく修繕を行うこと

⇒設備の破損は家畜排せつ物の飛散や流出を引き起こす可能性があります。破損を確認した場合、すぐに修繕しましょう。

ニ 送風装置等を設置している場合は当該装置の維持管理を適切に行うこと

⇒管理施設に送風装置や攪拌装置などが設置されている場合は、適切に維持管理を行いましょう。

ホ 家畜排せつ物の年間の発生量、処理の方法及び処理の方法別の数量について記録を行うこと

⇒家畜排せつ物の発生量、自ら農地に散布している量、耕種農家に譲渡している量、焼却・浄化処理等で廃棄している量について年間の記録を取りましょう。

これらを遵守し、環境に配慮した畜産を実現しましょう！

〔家畜排せつ物法では、管理基準違反の状態が改善されない場合は、最終的に罰則が適用されることがあります。〕



管理方法に関する基準の詳細についてお知りになりたい場合は、以下までお問い合わせ下さい。

茨城県農林水産部畜産課 TEL：029-301-3988 FAX：029-301-3999



県内唯一の食肉地方卸売市場
株式会社 茨城県中央食肉公社

代表取締役社長 角田 芳夫

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975

TEL / 029 (292) 6811 (代)

FAX / 029 (292) 6895

H P / <http://ibaraki-kousha.co.jp/>

市場開催日 { 豚枝肉 (日曜・祭日等を除く毎日)
牛枝肉 (毎週月・木曜日)

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL / 029 (231) 7501 FAX / 029 (222) 2032

○当協会に対する意見・要望

Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp

○本紙への掲載「催事・各種情報」

Eメール chikusan@ibachiku.com

○ホームページ

<http://ibaraki.lin.gr.jp>